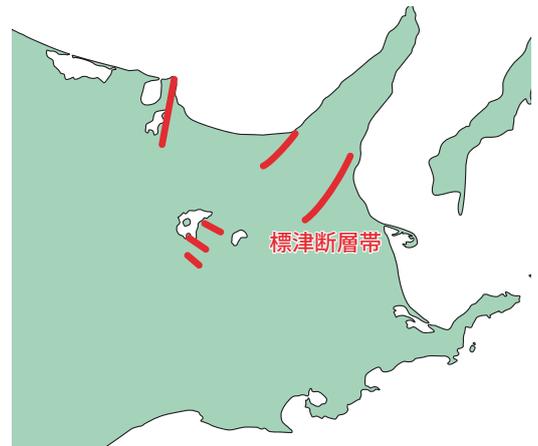


地震対策

北海道沿岸の海溝型地震の発生予想地域



弟子屈町及び近傍の活断層

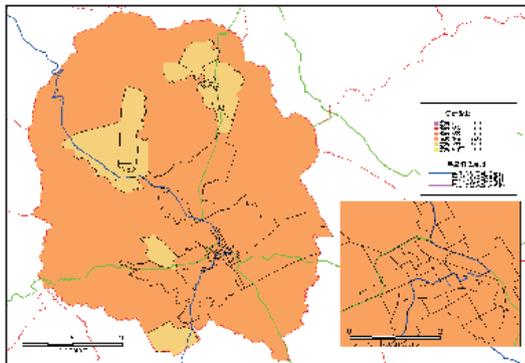


弟子屈町揺れやすさマップ

弟子屈町に最も影響の大きい地震として、「釧路北部地震」及び「標津断層帯地震」の2つの地震の揺れやすさマップを作成しました。

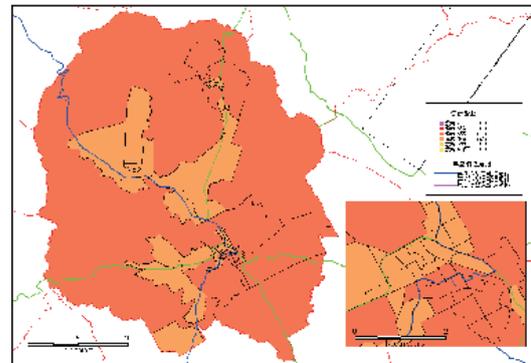
作成した揺れやすさマップは、全道を500mメッシュ(約500m角の正方形)に分割し、メッシュ毎に計算した震度を大字・町丁目界に置き換えて表示したものです。なお、大字・町丁目界の震度は、重なるメッシュのうち最大の震度を代表値と示しているため、大字・町丁目界全域が表示される震度で揺れる訳ではありません。

(1) 釧路北部地震 (北海道・中央防災会議の想定地震)



釧路北部地震の想定震度

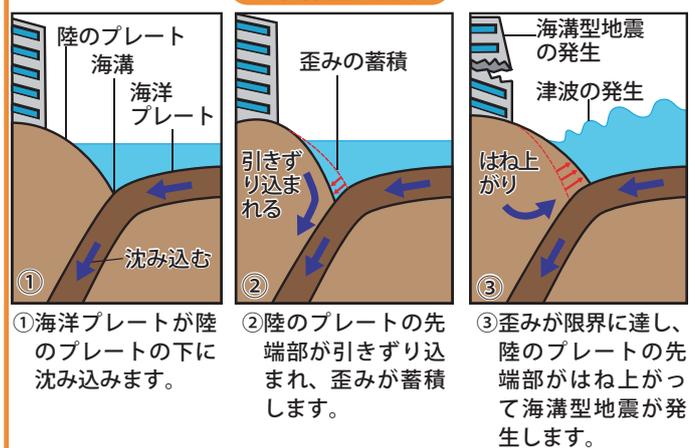
(2) 標津断層帯地震 (地震調査研究推進本部の想定地震)



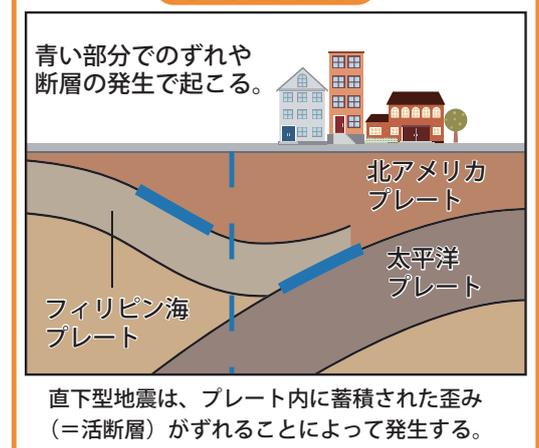
標津断層帯地震の想定震度

海溝型地震と直下型地震の違い

海溝型地震



直下型地震



地震の震度表

震度	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ● 眠っている人のほとんどが目覚めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電灯などが大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ● すわりの悪い置物が倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電線が大きく揺れる。 ● 自動車を運転していて揺れに気づく人がいる。
5弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電灯などの吊り下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ● すわりの悪い置物の大半が倒れる。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ● 電柱が揺れるのがわかる。 ● 道路に被害が生じることがある。
5強	<ul style="list-style-type: none"> ● 大半の人が物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 棚にある食器類や書棚の本で落ちる物がある。 ● テレビが台から落ちることがある。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 窓ガラスが割れて落ちることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 ● 据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。 ● 自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが困難になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れる物がある。 ● ドアが開かなくなることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 
6強	<ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが出来ず、はわないと動くことが出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ● 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 揺れに翻弄され、動くことも出来ず、飛ばされることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。 ● 補強されているブロック塀も破損する物がある。

地震対策 地震発生！そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

緊急地震速報

1~2分

3分

5分

10分
数時間
3日

揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたら

- まず、手近な座布団などで頭を保護するなどの避難行動をとる
- 大きな揺れが来る前に、テーブルや机の下などで身の安全を確保する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、ブロック塀・自動販売機等に注意



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に
声をかけよう

- 隣近所で助け合う 災害弱者の安全確保
- 行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか

出火防止
初期消火

- 初期消火 ●消火器を使う ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意 ガスの元栓・電気のブレーカーを切る ●余震に注意



ラジオなどで正しい情報を



- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時には車は絶対に使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 災害情報・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない
- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく

屋内にいた場合

家の中

- ・緊急地震速報を見聞きしたり、揺れを感じたら、すばやく身の安全を確保する。
- ・火の使用中に揺れを感じたら、揺れが収まってからあわてずに火の始末をする（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- ・乳幼児や病人、高齢者など災害弱者の安全を確保する。裸足で歩き回らない。（ガラスの破片に注意！）

デパート・スーパー

- ・カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

集合住宅

- ・ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- ・避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

劇場・ホール

- ・カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてず冷静な行動をとる。

屋外にいた場合

路上

- ・その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をかばんなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ・近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ・ブロック塀や自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

電車などの車内

- ・つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ・途中で止まっても、非常ロックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ・乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

海岸付近

- ・高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

車を運転中

- ・ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ・揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ・避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

